

美しい地域づくりを目指して

～第4回 雫石町橋場地区～

盛岡地方振興局土木部

私達は共に行動し支援します
 私達は岩手山麓・八幡平周辺重点地域周辺の美しい地域づくりに住民の方々と共に行動し支援しています。
 今回は雫石町橋場地区のらしさ探しと活動状況について紹介します。



心休まる ギャラリーのある
蔵のコーヒー店



雫石七ツ森の山百合群生地



思い出の詰まった校門
大山祇神、兜明神、鎧明神を祀っている橋場部落の氏神三柱神社



御明神の屋敷林



高前田の屋敷林



赤淵沿道の杉林



歴史を語る橋場の旧道
木立の中のそば屋



舟原の溪流と草花と吊橋、石碑が見守る



舟原の田園風景



坂本の沿道筋の店



杉木立の中のお社



橋場から望む駒ヶ岳
宿場町橋場の街並み



安栖沢溪流と草花

歴史を感じさせる旧秋田街道



宿場の面影が残る橋場の街並み
橋場の建物群



街中のお寺界限



多賀神社の老杉と竜と獅子



雫石中町の街並み
駅前風景
石材店



小雨の雫石川



出湯あふれる里鶯宿温泉

○ 橋場地区の歴史

雫石町を東西に横断する国道46号はかつて秋田街道と呼ばれ盛岡城下と秋田を結ぶ重要な往来であり、寛永年間からは幕府の巡見使や御馬役人など貴賓の通行路として奥州街道に準じ扱われていたとのこと

です。
その街道筋の橋場地区は現在27世帯の小さい集落ですが、三百年前には南部藩と佐竹藩の往来の要であり交通監視のために橋場御番所(関所)が設けられていました。今は新竜川橋のたもとに「橋場関所遺址」の碑がひっそりと佇むのみですが藩境である国見峠、仙岩峠の藩境碑及びこれに至る坂本川沿いの旧道は現在でも「旧街道」の趣を残しており、歴史ロマンを求めて訪れる人も多いと聞きます。

(3) 地域のらしさ探し(平成16年7月16日実施)

内容: 地域景観、街並みから学び調和した美しいまちづくりのための「らしさ探し」



○ 橋場地区の景観づくり

橋場地区には巡見使令や御馬買衆などの宿泊のための「御坂屋」が九郎兵衛をはじめ三軒あり、そのほかに休憩所として坂本に御茶屋が六件あって大変賑わっていたそうです。橋場は土地柄から大水害に遭ったり度々の大火で集落が焼けたりしましたが、かつては街道沿いには樹木がたくさんあり風情があった事と思われま

す。
そこで橋場地区の皆さんは古風な佇まいの民家が点在する中、春は桜並木、夏はモミジの新緑、秋は紅葉となる樹木を植栽し、沿道には草花を植えて潤いと安らぎのある町並みの形成に取り組もうとしています。この事によって建物などにも地域の皆さんにそれなりの配慮が必要との認識が出てくるのが期待されます。

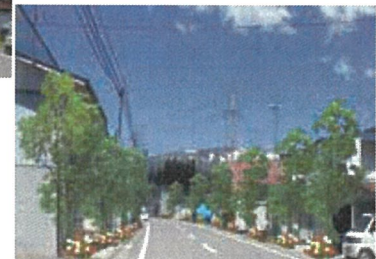
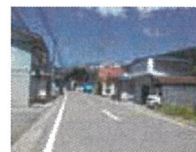
また、道の駅「雫石あねっこ」開業でたくさんの人が橋場訪れています。将来的にはかつての宿場町のように沿道に、昔の屋号で「五平茶や」とか「くろべえいだんごや」とか小さな店が出来る地域の風情を出したまちづくりを目指しています。

○ 景観形成住民協定締結に向けて

建築士会雫石分会の地域景観づくりの取組みの中で橋場地区で具体の活動が始まりました。2月にはNPO法人も設立されるとのことから振興局においても今年度同様、地元のみなさんと共に活動し、支援をして行きたいと考えております。



樹木と草花のうるおいある
街並形成シミュレーション



○ 景観に関する取り組み

建築士会雫石分会の皆さんは地域の景観形成に關し次のように勉強会を開催するなど取り組んできています。そうした中で橋場に住む会員の坂本利喜夫さん(景観形成推進協議会委員)は地区の方々に声をかけ、目標は景観形成住民協定締結に向けリーダーとして取り組んでいます。

(1) 景観に関する勉強会(平成15年6月27日開催)

内容: みんなで考えよう美しい景観
(盛岡地方振興局土木部 建築指導課)

(2) 景観・まちづくり塾(平成16年7月2日開催)

内容: 景観とまちづくり
(盛岡地方振興局土木部 鍋倉次長)